

Catch Ball

2017

1

Vol.843

謹賀新年



CONTENTS

- 新年のご挨拶 … 1～5
- 理事会だより 他 … 6
- J A グループ通信 … 7
- 貯金・融資課からのご案内
こよみ・市役所からのお知らせ … 8
- 営農計画書作成・審査について … 9～10
- 共済ホットライン … 11

● スプラピラの一言 ●

謹んで新年のお祝いを申し上げます。
昨年中は並々ならぬご厚情を賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も昨年同様、ご指導の程
宜しくお願いいたします。



年頭のごあいさつ



美唄市農業協同組合

代表理事組合長

村上 利雄

新年あけましておめでとうございます。
ます。

輝かしき新年の夜明けをご家族皆様
様ご壮健にてお迎える事と拝察し心
よりお慶び申し上げます。

日頃より農協事業運営にあたり深
いご理解とご協力を賜り重ねて感謝
とお礼を申し上げます。

本年も皆様にとりまして、平穏で
幸多い年と成ります事を衷心よりご
祈念し併せて一層のご指導ご鞭撻の
程宜しくお願い申し上げます。

顧みる昨年は、5月下旬迄は真夏
を思わせるような好天でしたが、そ
の後一転し曇天多雨が続き、水稻の
分けつ期、麦の開花期、大豆の播種等
神経を使う作業が続きしました。また、
7月に入り晴天により作物の生育回
復の兆しが見えた矢先、8月には例
のない一週間に4度の台風が上陸接

近し、各地に甚大な被害をもたらし
ました。同胞として被害に遭われた
皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

幸いに当地区は壊滅的な被害はあ
りませんでした。大豆の冠水滞水
は300haにもおよび減収を余儀な
くされました。その後も安定しない
天候の中で無事米の収穫を終える事
が出来ましたが、作柄は全体的に平
年並となったところです。昨年の台
風は、これ迄の概念を覆すものでし
たが、克服された組合員各位の努力
と作物の生命力に敬意を表します。
併せて、空知農業改良普及センタ
ーをはじめ関係機関・諸団体のご指導
ご支援に対し深く感謝申し上げます。

危惧していたTPP協定は、我が
国では強行採決をもって批准されま

したが、米国はトランプ次期大統領
がTPP離脱を明言した事から先行
きが全く不透明となりました。また
協定が発効されるのか否か、想定さ
れる影響やその対策が生産現場には
説明がない事から我々農業者の不安
は依然根強く残ったままでありま
す。

一方、昨年4月には改正農協法が
施行。アベノミクスの成長戦略の目
玉である農業改革の一つ「農協改革」
にメスが入りました。また11月には
規制改革会議の提言等が盛り込まれ
た政府調査会による「農業競争力強
化プログラム」がまとめられ、改革に
一層拍車がかかりますが、改革の目
的である「農家の所得増大」に向け
て、政府には「食料・農業・農村基本
計画」に基づいた実践に万全を尽く
して頂きたいところです。

いずれにせよ私共JAは、農業と
地域社会に根ざした組織としての役
割を十二分に果たしていく事と安
全・安心な農産物の安定供給を通じ
て、市民や消費者の期待にそえるよ
う今後とも全力を挙げていく所存で
す。

JAグループ北海道は、第28回
JA北海道大会にて「力強い農業」と
「豊かな魅力ある農村」の実現を決議

しました。これを踏まえ当JAでは、
本年度からスタートする第10次農業
振興基本計画の策定中であり、①生
産性の向上とコスト低減対策の実践
②収益力向上に向けた多様な販売展
開③担い手の確保・育成強化④農業
やJAへの理解・信頼を得る取り組
み。これらを柱に向こう3ヶ年の計
画を設定して参ります。

本年度新設予定の農業倉庫につい
ては、畑作物が多様化する中、円滑な
集荷販売に向け作業効率とコスト低
減を視野に有効活用をめざしてい
ります。

昨年度期中にレギュラーチエー
ンに移行したAコープ事業ですが、
2年目となる本年が正念場であると
認識しております。もぎたて市をは
じめとする地産地消や地域のライフ
ラインとしての機能も重要でありま
すので、組合員各位のご愛顧とご支
援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、農業・農協を取り巻く情
勢は益々難しくなると思われま
す。が、役員一同、組合員皆様と共にこ
の難局を乗り越えていく覚悟であり
ますので、本年もJA事業へのご利
用とご指導の程宜しくお願い申し上
げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて



美唄市農業協同組合

専務理事 岸

定

あけましておめでとうございます。

皆様にはつつがなく新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

顧みますと昨年は、大きな地震の続発、度重なる台風の上陸と天災の相次いだ年でした。さらに追い打ちをかけるかのような6月の低温長雨、8月の猛暑、9月の集中豪雨、そして11月の30年ぶりともいわれる早い降雪と、天候に振り回され続けた1年でした。その結果、どの作物も今一步という成果に終わってしまったことに、気候変動に対応できる技術の確立、危険分散に向けた経営的工夫の必要性を痛感しているところです。

とはいえ、不本意な数字ながらも、無事に出来秋の操業を終えられたこ

とに、またこの間、皆様からいただいたご協力・ご厚情に心から感謝するものです。

さて、今年は丁酉（ひのと）の年です。酉という字は草木の果実が成熟しきった、酒を造れるようになった状態をあらわし、商売繁盛、今まで頑張ってきたものの成果があらわれる年と言われます。当JAが他所に先駆けて取り組んできた種々の施策が、また組合員の皆さんが続けてこられた努力が、大きなものりとなる年であるように期待を大きくするものです。

その一方で酉年は、過去のできごとなどから革命の年、大きな変化の年とも言われます。

昨年4月の農協法・農業委員会法の改正で、一旦落ち着いたかにみえた農業改革の嵐でしたが、経済改革

の諮問会議の矛先は全農・ホクレンの事業見直しに言及し、農協つぶしの本丸に火が付いたと捉えられます。協同組合の本質を無視したようなワーキンググループメンバーによる虎の威を借りた答申には憤りを覚えるものです。

確かに肥大化しすぎた系統組織の有り様と、その自主改革のスピード感不足はいなめないところです。しかし、北海道という地域の特性を無視した、しかもあまりにも実態とかけ離れた議論に、地方の再生という命題はどこへいったのか、農業所得の増大となぜ繋がるのかと失望を大きくするものです。

もともと自民党農林部会の小泉進次郎部会長がめざす農業改革の柱となる部分は、補助金農政との決別、儲かる農業実現に向けた農協（全農）改革、生産者起点（価格維持）から消費者起点への転換の3本が柱といわれます。5年という年限を切られてすでに2年、変わらざるをえない時代の到来、不気味な地殻変動の予感を禁じ得ないところです。

新年早々、愚痴めいた言葉を重ねてしまいましたが、情勢の変化というものは、常について回るものです。一方で我々の営農は日々年々繰り返

されるものです。先行きの不透明感や不安に躊躇し、様子見を決め込むことは、迫りくる大きな変革に對し遅れをとってしまうこととなりかねません。混沌とした情勢のなかとはいえ、5年ないし10年後を見据えて、さらなるコスト低減の取り組み、経営の複合化による安定確保など、取り組むべき課題は多いと捉えるところです。もちろん、それらとは別に当面の所得確保のために、あらゆる課題解決にスピード感をもって取り組むことはいわずもがなです。

農協運営に関しまして、農協法第8条にあった非営利条項が外された今、取扱高・保有高に偏りがちだったこれまでの視点を改め、利益確保にむけた収支構造の見直しを図ることこそ急務と考えます。しかし、いかなる経営環境の変化があろうとも、「組合員・地域の皆さんの経営・生活を守る」という基本理念は何ら変わるものではありません。

今年も皆様から「頼っていただけ農協」をめざし、より質の高いサービスを提供できるよう努力してまいります。

この新しい年がより佳き年になりますよう、心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



平成29年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成29年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、8月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く

残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところで

す。
今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムとの取り組み、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があった一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも

必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の安全保障体制をいかに

確立していくかが問われています。言うまでもなく、農業は、食料の安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返った中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるように努力して参ります。

結びになりますが、今年の干支は丁酉（ひのと）です。

一説には、丁は、「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



新年のご挨拶



空知農業改良普及センター

所 長 竹 内 稔

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのことと思えます。また、日頃より農業改良普及センターの活動に、ご理解とご支援をいただいておりますことに對し、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は本道に接近、上陸した台風が4個を数え、近年になく雨が多く気象変動の大きい年でした。管内では、融雪が早く耕起作業も順調に進んだ反面、6月に入ると一転曇天や雨の日が多くなり、各作物に被害や生育停滞をもたらしました。また、8月上旬からは急激な気温上昇、下旬には台風襲来で一部浸冠水被害が発生、9月以降は断続的な降雨と

いった目まぐるしい変化を見せました。

このような中、水稻では穂揃いの悪さや登熟の緩慢さからシラタが目立つものの、収量的には作況指数102（南空知：10月15日現在）と平年を上回ることができました。また、秋まき小麦を含め、大豆やたまねぎなど他の作物においても、厳しい条件にさらされながらも、平年並からそれを上回る収量・品質を確保しています。

これらの結果は、日頃から基本技術を心掛け、適期適正作業を実践された農家の皆様のご努力や関係機関の協力のたまものと考えております。特に秋まき小麦では、減収要因解

析と技術の研鑽を進めた小麦プロジェクトの成果が着実に地域に浸透し、減収を食い止めたものと敬意を表するしだいです。

ただ、どの作物においても圃場や農家間に差があることは事実であり、いかに気象変動に左右されず、安定した収量や高品質を維持するかの課題も残ります。

昨年の事例をみると、生産基盤である土壌の改善、特に表面水を速やかに排除し、透排水性を向上させることの重要さを痛感させられました。同時に転作畑においては有機物の補給も踏まえた輪作体系の確立が、農産物の生産安定化に欠かせないことも浮かび上がってきています。

空知では水稻地帯の特質を活かし、以前から水稻の乾田直播や無代かき栽培と畑作物を組み合わせた空知型輪作が提案され、取り組まれて

います。これに加え、普及センターでは昨年からサブソイラやプラソイラなどを用いた亀裂促進による透排水性改善技術の確立、有機物を活用した土の団粒化・膨軟化技術等の確立を目指し「土壌物理性強化プロジェクト」を進めています。

今後プロジェクトでの調査・試験の結果を踏まえ、農家の方が取り組みやすい改善方法を提案し、土壌の改善を進めていきたいと考えています。

また、普及センターでは昨年から①安心安全な農産物生産、②高付加価値化、③多様な担い手の育成、④生産基盤の確立と先端技術導入⑤交流促進による地域活性化を柱に、新たな5カ年計画を立て活動を始めています。

具体的な取り組み内容は、農家の皆様との話し合いを踏まえ決めますが、職員一同、農協や市役所など関係機関とも連携し、持続可能な地域農業の確立を目指して展開していく所存です。

最後に、今年も豊穡の秋を迎えられ、皆様のご健勝で多幸となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





JAびばい女性部

部長

川岡 照子



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃より女性部の活動に対しまして、JAびばい並びに各関係機関の皆様には、深いご理解とご協力を賜りますことに心より感謝申し上げます。

昨年は春先の作業は幸先の良いスタートでしたが、6月の天候不順、8月に来た4つの台風、例年より早い降雪と安定しない天候の1年でした。作柄につきましては、米は平年並み、麦は品種によって違いはありますがそれなりの出来となり、大豆は残念ながら10年来の不作と聞いております。天候に大きく左右される農業の厳しさを改めて感じさせられた1年となりました。

私たち女性部は市民の皆様と直接触れ合うことが出来るJAびばい祭、収穫感謝祭を行っております。

JAびばい祭では部員が丹精込めて作った新鮮な農産物を格安で販売し、市民の皆様とコミュニケーションを取りながら「地産地消」の大切さと「安全・安心」をPRしております。収穫感謝祭では新米おぼろづきのおにぎりや部員が持ち寄ったお漬物、加工部会で作った手作り味噌を使った豚汁などを試食して頂くほか、部員の作った手芸品やしめ縄、亀のしめ飾りなどの販売も毎年好評で、市民の皆様にお喜び頂いております事に大変感謝致しております。

また、昨年2月のびばい雪んこまつりで豚汁の無料配布を行い、寒さもあってか200食分用意した豚汁があったという間になくなってしまい、市民の皆様に喜んで頂くことが出来ました。さらに12月には、初の試みとなる市民の方を対象とした味噌作り体験を開催し、参加した11名の方と交流を深めることが出来ました。これからも色々な活動を通して女性の意識の向上を図ってまいりたいと思っております。

最後になりますが、今後とも女性部員、消費者の皆様方、JAびばい、各関係機関の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方と女性部員のご健勝とご多幸で最良の1年になりますよう、また本年が豊穡の年になりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



JAびばい青年部

部長

土屋 謙



新年明けましておめでとうございます。

皆様が輝かしい新春を迎えられたことを謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、青年部活動に対しまして、JAびばい並びに各関係機関の皆様には深いご理解とご協力を頂いております事に心より感謝申し上げます。

昨年は積雪量も平年並みで春先の天候にも恵まれ、幸先の良いスタートとなりましたが、その後の日照不足・低温により、作物の生育が思うように進まず、基幹作物である米・小麦・大豆の収量については昨年を下回る結果となりました。また8月には4つの台風が上陸・接近し、農業に多大な被害を残した年にもなりました。

昨年の青年部活動は、見事最優秀賞を受賞した2月のスノーメッセージから始まり、農業技術の向上と部員の絆を深める目的で実施した部員視察研修では、東川町の農業生産法人を訪れました。7月の消費者交流会では農産物の収穫体験を行い、美唄産新鮮野菜の味を消費者の皆様感じて頂きました。11月にはJA職員との交流を目的としたミニバレー大会を行い、職員の皆様と有意義な交流を図ることが出来ました。

営農に関しましては、普及センター・米麦課とともに栽培技術の向上と生産性の安定を目指して現地講習会や営農学習会を年間通して行いました。また昨年につきましても北海道農業研究センターのご協力のもと飼料用米多収品種「たちじょうぶ」の現地調査も行いました。

JAびばい祭では台風の影響で、あいにくの天候となりましたが、毎年好評の「牛の丸焼き」については完売。その他イベントについても一部変更はありましたが、多数の参加者で大いに賑わい、無事に第22回JAびばい祭を終える事が出来ました。これも一重に盟友を始め、女性部・農協役職員また、各関係機関の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

結びになりますが、農業情勢が目まぐるしく変わり、大変な時代を迎えておりますが、本年もJAびばい並びに各関係機関の皆様が一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、本年の皆様方と青年部盟友のご健勝とご多幸、そしてより一層のご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

射手座



プライベートの充実を図りたい期間。趣味や得意なことに意識を向け、楽しむとグッド。読書からも発見あり

蠍座



スムーズに人脈を広げられる予感。初対面の相手にも気さくに声を掛けてみて。新しい習い事を始めるのも◎

2017.1

5

理事会だより

定例理事会 11月15日

定例理事会

報告

- ①平成28年10月末現在、業務財務報告
- ②営農経済委員会報告
- ③農家経済改善対策委員会報告
- ④JAびばい農業倉庫建設委員会報告
- ⑤JAびばい農場活用推進委員会報告
- ⑥平成28年度第3・四半期末組合員加入脱退状況報告
- ⑦平成28年度第3・四半期末余裕金運用報告
- ⑧平成28年度第3・四半期末総合ポイント制度実績報告
- ⑨平成28年度第3・四半期末固定資産取得状況報告
- ⑩平成30年度以降の需要に応じた米生産に向けた意見集約結果報告
- ⑪平成28年度決算推定報告
- ⑫その他

議案

- ①役員報酬審議委員会規程の一部改定について
- ②「理事の構成」に係る改正農協法への対応方針について
- ③役員推薦会議運営要領の制定並びに役員選任実施要領の廃止について
- ④理事に対する資金の貸付について

その他報告事項

- ①異常気象に伴う特別対策について
- ②平成29年度作付意向調査報告
- ③平成28年度産米・大豆集荷状況報告
- ④生産施設操業状況報告
- ⑤経済事業業況報告
- ⑥その他
- ⑤特定組合員に対する資金の貸付について
- ⑥「第10次JAびばい農業振興計画」基本構成について
- ⑦畑作物の直接支払交付金に係る数量払対応方針について
- ⑧多目的倉庫に係る入札について
- ⑨平成29年度役員報酬の諮問について
- ⑩その他

…全議案承認



農業者年金基金からのお知らせ

担い手積立年金

老後の備えは**農業者年金**で安心！

**女性農業者の
みなさんへ
あなた自身の
年金を！**



老後の備えは万全ですか？

女性農業者の長い老後を
しっかりサポートします

農業者の老後の
生活の収入は
国民年金＋農業者年金
が基本です！

国民年金の不足分を
しっかりカバーします

家族経営協定を結べば
保険料の国庫補助も
受けられます

女性の農業経営への参画を
しっかり応援します！

農業者年金の加入には
農地の権利名義は
要りません

自らの力で
老後に安心を！

お問い合わせはコチラ

JAびばい

信用部

融資課

TEL0126-63-2163
(担当：安村、池田)

2017. 1

水瓶座



ケアレスミスが増えそうなので、慎重に。慣れた作業ほど確認が必須。気力アップにはフットマッサージが有効

山羊座



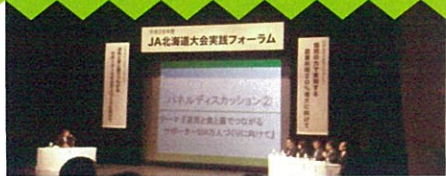
自分に自信が持てる星回り。どんどんアクションを起こして。過去にうまくいかなかったことにもリベンジ可能

JAグループ通信

発行元：JAグループ北海道

11月号

大会実践フォーラム特集！ 今回は、11月2日に開催した「JA北海道大会実践フォーラム」で発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします



「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めること等を目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後も協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。また、550万人サポーターづくりとしてコンサドーレ通帳の発行、親子料理教室、「ドローン貯金キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。



ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元に努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。今後も引続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解釈・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>

魚座



知的好奇心が高まる兆し。カルチャーセンターに通ったり、講演会を聴いたりするのに最適です。映画観賞も吉

2017. 1

7



今年もJAびばい信用フロアをよろしくお願いいたします！

新年1月4日（水）より営業を始めます



—わたしたちは、皆さまのご来店をお待ちしております—

貯金課 TEL 63-2162

目標額にあわせて、毎月ムリなくコツコツと積み立てる定期積金や
出し入れが自由で、お預け入れ残高に応じて利率のつく貯蓄貯金など
みなさまの目的に合わせて、ぜひご利用下さい。

貯金課
菅野 杏美

融資課 TEL 63-2163

マイホームのご購入やリフォームには住宅ローンやリフォームローン、
マイカーのご購入にマイカーローン、お子さまの教育資金に教育ローン
みなさまのニーズにお応えするため多様なプランをご用意しております。

融資課
安村 貴紀

共済推進課 TEL 63-2164

JA共済は組合員・地域の皆さまの暮らしのパートナーでありたいと
考えています。「ひと・いえ・くるま」の総合保障で、毎日の生活を
大きくサポートいたします。ぜひご相談下さい。

共済推進課
杉野 有沙

こよみ・行事 1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 1日 ○元旦
- 2日 ○Aコープ・給油所
仕事始め
- 4日 ○信用フロア仕事始め
- 5日 ○仕事始め
- 9日 ○成人の日
- 12日 ○常勤・幹部職員と
女性部役員との懇談会
- 17日 ○企画会議
- 18日 ○第2回農村女性講座
- 20日 ○コンプライアンス委員会
○定例理事会
- 27日 ○臨時理事会
- 31日 ○決算棚卸

美咲市役所農政課からのお知らせ

農地中間管理事業に係る 農地借受希望者を募集します

農地中間管理事業により農地借受を希望される方は、あらかじめ
登録手続きが必要となりますので、次の内容を確認のうえ、応募願
います。募集は、年2回実施しておりますが、今年度に限り平成29年
1月に3回目を実施いたします。

対 象 農地の規模拡大を図る担い手

応募方法 農用地等の借受希望申出書に必要事項を記入のうえ、
郵送又は持参により美咲市農政課へ提出願います。
(平成28年5月、9月に応募された方の提出は不要)
申出書及び説明資料は、美咲市農政課で配布のほか、
市のホームページからもダウンロードできます。
また、JAびばい企画相談課にも配置しております。

募集期間 平成29年1月10日（火）～2月10日（金）まで
(郵送の場合、当日消印有効)

提出先・お問い合わせ先はコチラ

美咲市役所 農政課

〒072-8660 (住所不要)
TEL: (0126) 63-0114

平成29年度

【企画相談課からのお知らせ】

営農計画書の作成・審査について

平成29年度の営農計画書の作成及び審査を左ページの日程にて行います。

日程をご確認の上、遅滞なくお越し頂き計画書の作成・審査を行って頂くよう宜しくお願いします。
なお、ご都合が合わない場合には事前に企画相談課へご連絡下さいますようお願いいたします。

●会場／本所2階 企画相談課

●ご用意いただくもの

①クミカン取引専用印

②印紙代（クミカン取引は当座貸越契約）

200円…クミカンを開設される方

注1) 貯金担保にてクミカン運用をされている方は、
担保されている貯金の「お届け印」をお持ち下さい。

③郵送された営農計画書作成・審査に係る資料一式

●その他

- ・作成審査には、時間がかかる場合がございます。ご理解ご協力をお願い致します。
- ・企画相談課にてパソコン作成致します。事前入力を行う方は「記録媒体 USB」等をお持ち下さい。
- ・家計費以外の現金供給は基本的に認められません。計画書作成にあたっては、振込での対応をお願い致します。



忘れずに！

平成29年度に農地・農機具等の購入、施設の建設などを予定されている方は、営農計画作成時に必ずご相談下さい。

急な申し入れには「資金借入」が出来ない場合もございます。早めのご相談をお願い致します。

◇お問い合わせは、企画相談課 TEL(0126) 63-2165 (直通) まで

2017 酉年生まれの職員紹介



前列左から 融資課：安村 貴紀
土地改良課：林 義恭
共済推進課：平 直也
後列左から 米麦課：佐藤 諒
米麦課：竹口 隼矢
企画相談課：藤田友里佳

平成29年度 営農計画書作成・審査日程

月日	時間	農事組合	
2月1日（水）	9:00～10:00	進徳 1 A	
		進徳 2	
	10:00～11:00	進徳 3	
		進徳西	
		進徳東	
		共練中央	
	13:00～14:00	共練東	
	14:00～15:00	東明 1	
東明 2			
東明東 7 条			
2月2日（木）	9:00～10:00	※一心	1108～1210
	10:00～11:00		1212～1217
	13:00～14:00		1302～1406
	14:00～15:00		1408～1429
2月3日（金）	9:00～10:00	※旧有為	2959～3043
		癸巳南	
	10:00～11:00	癸巳中央	
	13:00～15:00	癸巳北	
2月6日（月）	9:00～10:00	沼の内南 1	
		沼の内南 2	
	10:00～11:00	沼の内中央	
	13:00～15:00	沼の内北 1	
2月7日（火）	9:00～10:00	沼の内北 2	
	10:00～11:00	※開発	4509～4517
	13:00～14:00		4519～4704
	14:00～15:00		4712～4813
2月8日（水）	9:00～10:00	※開発	4819～4910
	10:00～11:00		4913～4920
	13:00～14:00		4923～4938
	14:00～15:00		4939～9995
2月9日（木）	9:00～11:00	拓辰	
	13:00～15:00	上美唄東栄	
2月10日（金）	9:00～10:00	※上美唄	5101～5302
	10:00～11:00		5305～5404
	13:00～14:00		5409～5414
	14:00～15:00		5503～5504
2月13日（月）	9:00～10:00	※上美唄	5603～5607
	10:00～11:00		5702～5903
	13:00～14:00		5904～9828
	14:00～15:00		9849～9882

月日	時間	農事組合	
2月14日（火）	9:00～11:00	元村 1	
	13:00～15:00	元村美富	
2月15日（水）	9:00～10:00	※山形 1	7105～7209
	10:00～11:00		7301～7402
	13:00～14:00		7407～9808
	14:00～16:00	山形 2	
2月16日（木）	9:00～10:00	茶志内 1 兵村	
	10:00～11:00	茶志内 1 中央	
	13:00～14:00	茶志内 2 南 1	
		茶志内 2 南 2	
		茶志内 2 新行	
	14:00～15:00	茶志内 2 東	
茶志内 2 東 1			
2月17日（金）	9:00～11:00	茶志内 2 東 6 線	
	13:00～15:00	茶志内 3 新成	
2月20日（月）	9:00～11:00	茶志内 3 榎本	
	13:00～14:00	茶志内 3 昭和	
2月21日（火）	9:00～10:00	※北美唄光栄	4011～4603
	10:00～11:00		4610～4654
	13:00～14:00		4659～9865
2月22日（水）	9:00～10:00	※北美唄平成	4633～9603
	10:00～11:00		9604～9613
	13:00～14:00		9712～9867
2月23日（木）	9:00～11:00	中村南	
	13:00～14:00	中村菱沼	
	14:00～15:00	個人	
2月24日（金）	9:00～10:00	中村中央	
	10:00～11:00	中村北	
	13:00～14:00	中村東	
2月27日（月）	9:00～10:00	※団体	9805～9827
	10:00～11:00		9830～9838
	13:00～14:00		9851～9874
	14:00～15:00		9883～9892
2月28日（火）	9:00～11:00	予備日	
	13:00～15:00		
3月1日（水）	9:00～11:00	予備日	
	13:00～15:00		

※の付いている農事組合・団体は、コード別になって
おりますので、お間違えのないようお願い致します。

※の付いている農事組合・団体は、コード別になっておりますので、お間違えのないようお願い致します。

事故にあった！故障して動かない！そんなときは…

24時間365日 事故受付とアドバイス



事故の場合には

ＪＡ共済 0120-
事故受付 ジコハ クミアイ
センター 258-931

レッカー移動や故障時の
応急対応が必要な場合には

ＪＡ共済 0120-
サポート レッカーロードサービスは クミアイ
センター 063-931

レッカーサービス

現場から 30km 以内のけん引が**無料**！

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄りの修理工場等までお車をけん引します。



ロードサービス

30 分程度で対応可能な応急対応が**無料**！

故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。



！事前にＪＡまたはＪＡ共済サポートセンター（ＪＡ共済事故受付センター）に要請された場合に本サービスの対象となります。（ご自身で手配された場合は本サービスの対象外となります）

※トラブルの状況や手配内容によっては、お客さまに費用のご負担が発生する場合があります。

※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービス利用者のご負担になります。

※ＪＡＦ会員であるお客さまについては、お客さまのご了承のもと、ＪＡ共済事故受付センターまたはＪＡ共済サポートセンターからＪＡＦを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から45キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について4,000円を限度にサービス対象範囲とします。

夜間休日 現場急行サービス

ＪＡの営業時間外にＪＡ共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービス受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。

※事故現場からお電話いただき、お客さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。

※原則として、対応員の出勤拠点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。

※ＪＡ共済より業務委託を受けた民間警備保障会社の対応員が急行します。

夜間休日 初期対応サービス

ＪＡの営業時間外にＪＡ共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがお客さまからの相談対応や相手方への迅速な対応（事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等）を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時（対応は22時まで）、土日・祝日：9時～21時（対応は22時まで）です。

※対人賠償事故（人身傷害事故含む）、対物賠償事故、車両諸費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。

休日 契約者面談サービス

ＪＡの営業時間外にＪＡ共済事故受付センター（フリーダイヤル）へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがお客さまを訪問し、事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえます。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜：終日、日曜・祝日：0時～17時です。

※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。

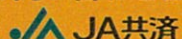
※ＪＡ共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

■各種サービス共通の注意事項（サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。）

※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。

※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。【16019990014】

お問い合わせは…



ＪＡびばい 信用部 共済推進課

(0126) 63-2164

新年あけましておめでとうございます



美幌市農業協同組合



代表理事組合長	村 上 利 雄	監 査 室 長 鈴 木 浩 一	専 務 理 事	岡 浩 明	常 務 理 事	水 口 久 明	職 務 代 理 理 事	林 英 明	理 事	平 良 均	理 事	嶋 原 憲 昭	理 事	猪 俣 康 資	理 事	田 中 徳 雄	理 事	加 藤 隆 雄	理 事	岩 滝 優 裕	理 事	伊 藤 正 人	代 表 監 事	新 吾 勝 彦	常 勤 監 事	横 井 由 博	監 事	福 井 範 明	監 事	伊 藤 範 明
室 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長	管 理 部 長
江 畑 真 一	浅 沼 康 重	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟	黒 野 悟

外 職 員 一 同

美幌市農協事業推進委員会 会 長 大 石 橋 勉	美幌市農協役員報酬審議委員会 委 員 長 山 口 勝 利	JAひばい青年部 部 長 土 屋 謙 博	JAひばい女性部 部 長 川 田 照 子	美幌米麦センター協議会 会 長 桜 井 龍 雄	美幌麦作営農組合 組 長 水 上 和 彦	株式会社 開発みどりふあむ 代表取締役 林 孝 友	アグリ山形合同会社 代表社員 桜 井 龍 雄	西美幌米麦営農組合 組 長 畑 井 雄 二	一心米麦営農組合 組 長 井 上 英 明	元村米麦営農組合 組 長 太 田 政 徳	上美幌米麦営農組合 組 長 高 橋 明 徳	沼の内営農組合 組 長 藤 原 国 夫	中村共同施設利用組合 組 長 浅 井 孝 司	美幌市農協蔬菜部 会 長 矢 野 義 夫	美幌市農協玉葱部 会 長 要 覚 之	美幌市グリーンアスパラ生産組合 組 長 西 川 芳 勝	美幌市ハスカップ生産組合 組 長 猪 俣 康 資	美幌市メロン生産組合 組 長 樋 口 計 雄	美幌市きのこ生産出荷対策協議会 会 長 笹 原 俊 明
美幌市軟白長葱生産組合 組 長 高 橋 修	美幌市農協花き生産組合 組 長 土 屋 信 博	美幌市農協四季成りいちご生産組合 組 長 渡 部 浩	美幌稲作振興会 会 長 桑 折 尚 宏	JAひばい「ゆめぴりか」生産部会 会 長 今 田 邦 彦	美幌市水稲直播研究会 会 長 鈴 木 孝 典	美幌農業情報システム研究会 会 長 櫻 井 義 彦	美幌市農村機械化センター連合会 会 長 林 孝 友	美幌無人ヘリコプター協議会 会 長 花 井 敬 芳	美幌先進農機研究会 会 長 黒 田 信 也	美幌地区国営農地再編整備事業推進期成会 会 長 伊 藤 健 蔵	上美幌地区国営農地再編整備事業推進期成会 会 長 金 子 義 彦	西美幌地区国営農地再編整備事業推進期成会 会 長 伊 藤 健 蔵	美幌茶志内地区 会 長 小 西 政 和	北美幌地区土地改良事業推進期成会 会 長 田 村 敏 数	進徳一心地区土地改良事業推進期成会 会 長 三 浦 敏 一	Aコープひばい生産者直売部会 会 長 西 尾 盛 定	美幌市農協生活改善運動推進協議会 会 長 岸 定		

平成29年元旦

(順不同)

J A の 概 況

<11 月末>

○皆さんの貯金	25, 060, 751千円
○皆さんへの貸出金	5, 308, 018千円
○皆さんの出資金	718, 750千円
○組合員数	(正) 795人 (准) 4, 033人 (計) 4, 828人

お悔やみ申しあげます	一心	▲矢野 久子さん (九十五歳) 十一月十六日 死去
上美唄	▲澁谷 榮作さん (七十六歳) 十一月二十五日 死去	
一心	▲坂口 智子さん (六十二歳) 十一月二十六日 死去	
北美唄	▲清水 ハツエさん (八十七歳) 十一月二十六日 死去	
美唄市農協生活改善 運動推進協議会		

ATM休止のお知らせ

A T Mにつきましては、機器メンテナンスのため、下記日程の稼働を終日休止させていただきます。

お客様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。
なお、窓口は通常通り営業いたしております (9:00 ~ 16:00)

《A T M休止日》

本 店A T M 2月8日 (水)
共練店A T M 2月9日 (木)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
日頃、J A びあい広報誌発行に当たり皆さまのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。
気がつけばあつという間に新年を迎えてしまいました。ついこの間お正月のごちそうを食べながら、駅伝を見ていたはずなのに...笑
今年も読んで頂く方に楽しんでもらえるような広報誌づくりに力を入れていきたいと思っていますので、みなさんよろしくお願い致します!!



新春初売り

ポイント

1月2・3日

2日間
限定

本 店 9 時 00 分 開 店

あさ

※閉店時間は、午後5時

コア店 8 時 30 分 開 店

あさ

※閉店時間は、午後5時

※3日より、コア店/午前10時開店、午後6時閉店となります。
詳しくはチラシ等をご覧ください。

12
倍
!!

新年あけましておめでとうございます。